

## 林 艶霊 (中国)

私は、薄さんとウブレティさんの家にお世話になりました。

どうして名前にカタカナがあるのか疑問でしたが、お姉さんはネパール人と結婚して子どもがいました。赤ちゃんは人見知りをしなかったので私たちと一緒に楽しく遊ぶことができよかったです。いつもニコニコ(^O^)していて本当にかわいいです。

いろいろな話した後、晩ご飯を作るためにアピタというデパートに買い物に行きました。晩ご飯は刺身とお寿司にしました。スーパーでいろんな材料を買って、家に帰って一緒に作り始めました。スープは私たちが好きな具たくさん味噌汁にしてくださいました。一緒に野菜を洗ったり切ったり楽しかったです。出来上がった刺身とお寿司はすごく美味しかったです。もちろん味噌汁も最高でした。

ご飯の後はアルバムタイムです。昔の写真やお姉さんの結婚式の写真、赤ちゃんの生まれたばかりの写真などを見ながらいろいろな話をしました。昔の文化も教えてくださいました。それからお風呂に入って、テレビを見て寝ました。

次の日、新潟の歴史が見られるふるさと村に行きました。時代によって生活もだんだん変化しているのを映像で見ることができました。分かり易かったです。後は、池のお魚に餌をやりました。あのお魚たちはまるで数日も食べていないように口を大きくしてエサをパクパク食べました。エサをあげると、皆私たちの前に泳いできたから、写真を撮るチャンスでした。

この二日間は本当に楽しかったです。いろんな勉強にもなったし、感謝の気持ちでいっぱいです。きれいなお土産ももらいました。

ホームステイに参加して本当に良かったと、心から思っています。どうも有り難うございました。



## 薄 雯丹 (中国)

ホームステイに参加でき、有り難く、本当に嬉しいと思いました。そして、こういう気持ちを持って、準備し、受入れ家庭へ行きました。

この家庭はとても幸せな家庭だと思いました。お姉さんはネパールの人と結婚していて、赤ちゃんがいました。とても可愛い男の子です。お姉さんは、両親と赤ちゃんと一緒に住んでいました。

お寿司を作るため、買い物へいきました。車の中で赤ちゃんに中国語を教えたら、すぐに真似しました。とても面白かったです。赤ちゃんは車が大好きで、車のおもちゃばかりで遊びました。子どもの世話をするのは大変でした。時々、私の頭がおもちゃでたたかれました。そういう両親の苦勞をよく理解できました。

晩ご飯を作っているとき、私たちはずっと見ていました。日本の料理も学びたいからです。手作りのお寿司は簡単ですけど、中国では材料がありませんから、ちょっと難しいと思います。ご飯の上には自分が好きな物を入れて、醤油をつけて、いっぱい食べました。すごく美味しかったです。

ご飯の後は、一緒にテレビを見たり、お菓子を食べたり、おしゃべりをしました。家族のようにいろいろ話しました。お父さんは中国の歴史に興味があり、私たちも勉強になりました。テレビはオリンピックの体操を見ました。本当に自分の家みたいで、楽しかったです。

それから、お風呂に入りました。学校の先生が言った通り、皆、順番に入りました。お姉さんは綺麗な部屋を準備してくれたので、私たちは気持ち良く寝られました。ネパールっぽい部屋です。異文化を体験しました。

次の日、新潟ふるさと村へ行きました。新潟の方言「いっぺこと」と歴史を覚えました。昭和から平成まで、今の技術がいいと思う一方で、戦後の日本の経済が早く進んだことに感嘆しました。

別れの時、たくさん食べ物ももらいました。私は、中国のお茶をあげました。いろいろ思い出すと、大変勉強になりました。



## 蘇 文鑫 (中国)

初めてのホームステイで、最初は心細かったですが、受入れ家庭の大滝さんから挨拶のメールを頂いて、食べ物とか聞かれて、すごく親切な方と感じ、一安心しました。

会場で会ったら、本当に上品で、優しそうな奥様です。写真を撮った時、恥ずかしかった息子さんも可愛いです。

一日目は、息子さんとプレイボードや組み立てゲームをやったり、ピカチュウのアニメを見ました。日本の子どもたちは、家でこもって電子ゲームやネットゲームばかりをやっていると聞いたので、そうでもないと思いました。絵が上手な息子さんは、「ようこそ」とキレイな色使いで書いてくれたり、お茶も入れてくれる礼儀正しい子どもです。

もう1つ感心したのは大滝さんの手作り料理です。イカの天ぷらもコロッケもみんな美味しくてたまらないです。特に朝ごはんは印象深かったです。食べるのがもったいないくらいかわいい朝ごはんでした。コーンスープもとっても美味しかったです。

二日目は、海に行って、バーベキューでした。「春の海、ひねもすのたり のたりかな」という与謝蕪村の俳句があり、ずっと日本の海を見たかったです。春ではなかったですが、夏の日本海も穏やかな感じでした。広くて青い空を飛んでいる海鳥は何だか頭のすぐ上のように、手を伸ばしたら、羽にも届くことができそうな感じでした。

子どもたちと流しそばを取ったり、焼きあがったトウモロコシを食べたり、浜辺で、裸足でサッカーをしたりと、思い出たっぷりの日でした。

親切な大滝さんのおかげで、とても楽しい二日間を過ごしました。本当にありがとうございました。二日間もあったのに、あっという間に終わってしまった気がします。また、参加したいと思います。



(息子さんが作った看板で〜す)



(かわいい朝ごはん)

## 吳 琳茜 (中国)

交換留学で日本に初めて来た私にとって、ホームステイで過ごした時間は、非常に有意義でした。日本文化を体験し、普通の日本の家庭の温かさを感じることができました。ホストファミリーと過ごした時間は、一泊二日でしたが、一分一秒も楽しい思い出ばかりです。

土曜日の午後、対面式の後、小杉さん、娘さんと一緒に娘さんが通っている高校の弓道部を見学しました。弓道部の座右の銘は「不動心」「動揺することのない精神」、最後まで訓練し続けるでした。中国の中学校や高校には、部活がないので、皆がまじめに練習している姿を見て、うらやましく思いました。弓道部の先生や部員達はとても親切で、熱烈な歓迎を受けました。ありがとうございました。

見学後、家に向かいながら、いろいろな話をしました。小杉さんの家は、農家で、ブドウ、梨、トマト、キュウリ、ナスなどを栽培しています。特に梨は、日本の友だちから聞くことのあるル・レクチェを栽培しています。今回は残念ながら、時期ではないので、見ることはできませんでした。キュウリ、ナス、トマトを取りに菜園に行き、初めて日本での収穫体験をしました。夕食は日本の家庭料理をいただきました。おばあちゃんが作ってくれた茶わん蒸しは、とてもおいしかったです。

日曜日は、国上山に行き、良寛の里を見学し、お昼は流しそうめんを食べ、新潟県立歴史博物館に行き、新潟県の歴史や発展に欠かせなかった新潟人の勤勉さ、知恵の豊かを知り感動しました。

最後は、100年の歴史をもつ江口だんご本店で、だんご作りをしました。抹茶と五色団子はとてもおいしかったです。

伝統文化、美食体験といろいろと体験したホームステイもここで終わり。小杉さんのご家族のみなさん、暖かいおもてなしと歓迎をありがとうございました。



## 徐 銘沢 (中国)

私は玄さんと駒口さんのお宅にホームステイをしました。彼の家は、今は三人家族でした。私たちを迎えたのはお父さんとお母さんです。お宅に向かう車の中でいろいろな話をしました。

家に着いてから、まず、お互いに自己紹介をしました。中国は北京と上海は知っていましたが、他のところはわからず、私たちは地図で自分のふるさとを指して教えました。

それから、買い物に行きました。ちまきと新潟の一番有名な笹だんごやバーベキューの材料のイカやホタテなど、いっぱい買いました。

彼の家のまわりの道の両側は、見渡す限りの田んぼで、とてもきれいです。お母さんがアイスクリームを買ってくれました。アイスクリームの中には、あずきが入っていて、とてもおいしかったです。空気もおいしく、静かで、木がたくさんあり、大自然の中に住んでいるのを感じました。

バーベキューは家の外でしました。話しながらお肉とエビとイカと十全ナスを焼いてすごく楽しかったです。お母さんが梅干しのおにぎりを作ってくれました。おいしかったです。食後は、花火をしました。日本に来て、初めての花火です。とてもきれいです。デザートもありました。とうもろこしとすいかを食べました。駒口さんは、ナスやじゃがいも、枝豆などいろいろな野菜を作っていました。栄養もあり、健康にすごく良いと思いました。

それからカラオケをしました。全部の歌は伝統的な歌でほとんどわからなかったですが、「世界にひとつだけの花」はわかりました。息子さんはギターをひきながら歌を歌いました。

お母さんは自分の浴衣を着せてくれました。浴衣の色は青で、私は青が大好きです。花柄もとても綺麗でした。私たちは着方がわからなかったの、すべてお母さんにやってもらいました。後ろの蝶結びの帯もきれいでした。浴衣を着ている玄さんは日本人みたいな感じがしました。お父さんはたくさん写真を撮ってくれました。

お母さんは、私たちを先にお風呂に進めましたが、私たちはそのような習慣がないと言い、お風呂に入らないで、簡単に洗いました。洗ったあと、11時になりました。一番広くて涼しい部屋をあけ

てくれて、寝心地もよかったです。

二階は息子さんの部屋でした。私たちは好奇心を持って、二階はどんな部屋か知りたいですが、勝手に入るのはダメです。だから、好奇心をもって、私と玄さんは耳元でささやきながら話し、知らないうちに寝てしまいました。

翌日、6時30分頃起きました。お母さんはもう台所で朝ごはんを準備していました。私たちはお父さんと散歩しました。近くに小さい神社があり、その神社はお父さんが子どもの時にいつも遊んだところでした。今はもう古くて草がいっぱい出ていました。神社の前には、大きいしめ縄が飾ってありました。しめ縄とは、悪い神様が入らないように紐で作ったものです。散歩から戻ると、朝ごはんがもう出来上がっていました。朝ごはんはトマトときゅうりのサラダや鮭焼き、みそ汁、千枚漬け、赤いご飯でした。とても美味しかったです。

ご飯のあと、車でいくつかの観光地に行きました。まず、弥彦山へ行き、頂上から見渡すと、海と新潟の全景が見えました。山は霧が立ち込め、さすが神様がいます。弥彦神社はとても有名で、祈ることなんでも叶えるところです。ある神様は成績がいい神様で、学生に人気があるそうです。

神社で日本人がどうやってお参りするか、私は、知っていました。お母さんから綺麗なお守りを買ってもらいました。神社の中を回り、いろいろ勉強になりました。神社を出たあと、美味しいパンダ焼きを買ってもらいました。パンダはもち米で作ったものでとても美味しかったです。次は、良寛様のところに行きました。

お父さんとお母さんは私たちを家まで送ってくれました。別れるとき、私たちは持ちきれないほどのじゃが芋と玉ねぎをもらいました。お母さんが作った野菜は、友人たちにあげました。友人たちは喜んでくれ、私も嬉しいと言いました。今回のホームステイは、本当に楽しかったです。そして、大変勉強になりました。こんな機会はまたとないです。



(おいしい朝ごはん)



## 「縁」 尹 美蓮（中国）

私は日本に来て9月で2年になります。現在は修士2年生です。普段の生活では、なかなか日本人の家庭生活に触れることがなく、今回、私は椎谷さんのご家族と知り合うことができました。本当にホームステイに参加できてよかったと思います。椎谷さんの家は、私のアパートからもそんなに遠くなく、これもまた「縁」かと思いました。

ホームステイの当日、私は椎谷さんと二人の娘さんに会いました。最初、見た感じでもとても明るい人達でした。四人が国際交流協会の建物を出た後、いろいろ話し合いました。これもまた不思議かと思いますが、私は椎谷さんの娘さんの友達と知り合いで、また今新潟大学で勤めている椎谷さんの昔の仕事仲間とも、たまたま学校の活動と一緒に参加したことがありました。本当にいろいろ繋がっているのももっと親しむようになりました。その後、椎谷さんは、私達子ども3人を連れて、旧斉藤家別邸を回りました。おいしい抹茶と和菓子も食べました。初めて会ったけど、昔から知り合っていた感じでした。午後4時ぐらいになって椎谷さんのお家に行きました。お父さんは仕事で出かけて、家にはおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんとおばあさんはもうお年寄りですが、若いころはきっと美男美女だったかと思いました。家族みんな明るくて、親切な人でした。晩ご飯は日本に来てまだ食べたことがないお好み焼きでした。みんなと一緒にしゃべりながら食べるのは本当に、この家庭の一員になったような感じがしました。それに、夜は一緒に花火もやりました。花火も初めてで楽しかったです。

夜もぐっすり寝て、翌朝は一緒に天ぷらとちらし寿司を作りながら、楽しく過ごしました。お昼過ぎ、おじいさんとおばあさんにお別れし、新潟の歴史が展示されている「ふるさと村」に行きました。いろいろ見学しながら、新潟についても一層理解を深めました。最後に食べたかき氷もすごくおいしかったです。みんなで写真もいっぱい撮って、いい思い出になりました。

友達みたいに付き合ってくれる明るいママ、あんまりしゃべらなかつたがやさしいお父さん、貨幣のコレクションを見せてくれたおじいさん、きれいなおばあさん、時々口喧嘩もする仲の良い姉

妹、本当に幸せが溢れる家庭でした。思わず自分の父、母、兄を思い出します。これからも日本にいるかぎり、ずっと付き合いたい家庭で、なんか頼りができた存在感でした。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



## グエン・ティ・トゥイ・ガー（ベトナム）

私が、日本に来た目的は勉強だけではなく、日本の文化も、人間も、生活も体験したいと思っていましたから、ホームステイを体験でき、本当に感動しました。ホームステイを通じて、もともと日本のことが好きだった私は、日本人の生活、日本の文化をもっと理解できました。だから、もっと日本を親しく感じることができました。

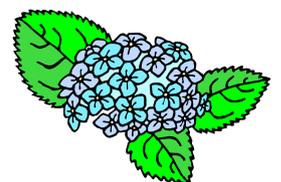
私は、皆川さんの家族と一泊二日間を過ごして、楽しかったです。短い時間でしたが、忘れられない記念が記憶にいつまでも残ると思っています。優しいお父さん、お母さんと可愛い娘さんがいるホストファミリーは日本の典型的な若い家族です。

ホームステイの最初の日に、本町市場に行きました。日本に着てから、スーパーだけで買い物をしていたので、市場で買い物をしたのは初めてだったので、面白い体験でした。私達は料理を見て、試食しながら、お母さんが料理について紹介してくれました。

一番楽しかったのは、一緒に晩ご飯を作ったことです。娘さんも卵を割り、しっかりお手伝いをしていたことに、びっくりしました。晩ご飯は互いに話しながら、うまい料理を楽しみました。

次の日は、弥彦公園に行きました。ロープウェイから遠い景色を見るのは、素晴らしかったです。アジサイの花がまだ咲いていて、綺麗な絵みtainな景色でした。お父さん、お母さんは親切に説明してくれましたから、助かりました。

ホームステイの時間は早く経ちましたが、貴重な経験が出来ました。国際友情が広がったり、日本について深く理解したりしました。



## 呉 茜 (中国)

今回、日本人との交流ができる機会、そして、日本の家庭で、日本文化を理解できる機会が与えてくれたことに感謝します。

対面の前、ホストファミリーのお母さんから手紙をいただき、とてもびっくりしました。家族写真が貼ってありと家族の紹介と2日間の日程が書いてありました。私は、友人や先生に、「ホストファミリーから手紙がきた!」と自慢しました。お母さんの字はきれいで、絵も上手でした。手紙からもうすぐ、お母さんの誕生日だとわかり、プレゼントとケーキを送ることにしました。会える日までとても待ち遠しかったです。

須田家はお父さん、お母さん、二人の男の子の4人家族です。お母さんは親切で優しく、お父さんは大学生のように若く見えました。お兄ちゃんは4歳、最初は恥ずかしがっていましたが、慣れてくると、ワンパクの本性が現れました。弟は、まだ0歳で超かわいいです。

初日、日本語でどう表現したら良いかわかりませんが、とにかくとても興奮しました。

お母さんは、ハンバーガーを作ってくれました。私は、お兄ちゃんと一緒に手伝いました。お母さんが、「お兄ちゃんは、ハンバーガーがあれば、何もいらぬ。」と言っていました。お母さんの腕前はすごいです。

故郷や家族と離ればなれの留学生にとっては、家に帰ったような感じでした。食後、お婆さんが、浴衣を持ってきてくれ、着せてくれました。浴衣を着て、子どもたちと一緒に花火もしました。言葉では言い表せない感動と幸福感を覚えました。とても楽しかったです。

2日目、お婆さんの家に行きました。畑で掘ったじゃがいもを使い、ふかし芋とカレーライスを作りました。自分で掘ったジャガ芋の味は格別でした。手作りが一番です。午後、ずっと行きたかった亀田のイオンに行き、記念にやかんを買いました。

楽しい時は矢の如く、1泊2日はあっという間に過ぎ、もう別れの時間です。別れが惜しかったです。前の晩、お兄ちゃんがお母さんから“明日、また3人になるよ”と言われ大泣きをした時、私も本当に辛かったです。しかし、世の中、終わら

ない宴会はない、別れなければならないのです。みんなで集合写真を撮り、図書館まで送ってもらいました。車を降りた時、この1泊2日の楽しい思い出が詰まったアルバムをもらいました。感動して言葉も出ません。いつどこでつくったのかと不思議に思いました。本当に大きなサプライズでした。

今、お母さんが書いてくれた手紙とアルバムは引き出しの中に仕舞ってあります。ずっと大事にします。先日、お母さんとネットでチャットをし、お母さんがみんな元気だよって、写真も送ってくれました。とても楽しく、温かく感じました。私にとって、貴重な留学経験と人生経験になりました。しっかりと心に刻みたいと思います。



(お母さんが作ったハンバーガー)



## 張 君宇 (中国)

期待のホームステイ、申し込んだ時から、待ち望みました。ホームステイでは、異国の古い文化の精髓を感じました。日本でどれだけ長く生活していても、毎日の行動も食事も祖国と深くつながっています。同じ街にいても異なる文化・生活様式が存在し、私は幸運にも国の異なる友人とともに生活する機会を得ることができました。二平太さんのお宅は、庭のある二階建てで、美しい建築より更に、人々の出迎えの気持ちが美しく、なんだか帰省したような気分になりました。家族への挨拶の後、その家の家系図、おじいさん、お父さん、お母さんに二人の息子さん、また名前の呼び方、趣味等を日英語で示したものを受け取り、このお宅の準備の良さにとても驚きました。

おじいさんにも見えるようにお父さんはパソコンをテレビ画面に接続し、グーグル地図で中国の私の自宅を検索してくれました。生まれ育った場所でしたが、めっきり話すことも忘れ、久しぶりに見ると、美しい思い出がよみがえり、きっかけを作ってくれたお父さんに感謝しました。

お兄さんは大学1年で、今、中国・ロシア・韓国の学習を検討している重要な時期にいると知り、私の来訪がお兄さんの求めに応じ助けになればと思いました。

午後4時ころ、お父さんの計画で私の大好物のマグロを買いに、鮮魚の入手という理由だけで車で走ることに1時間、寺泊まで行きました。

夕食の後は、家族全員でアメリカ映画「ホームアローン」を見ました。映画館でも映画は見ますが、家族と見るホームシアターは、別の情調がありました。夜、お風呂の時、歯ブラシを忘れ困っていたところ、お風呂場に戻るときちゃんと歯ブラシ、コップ、タオル、くしが置いてありました。

2日目は県立植物園と佐渡出土品展へ行き、帰宅して、一緒に餃子を作り、庭でバーベキューをしました。午後の2時間は日本の将棋を教わりました。これは中国将棋とチェスの融合体のようで、日本人の想像力に大変驚きました。

2日間のホームステイは、私にとって驚きの連続でした。国の異なる友達の想像力、接待のきめ細やかさ、準備の良さに仰天でした！

## 梅 天宇 (中国)

留学生活では、なかなか体験できない日本の家庭生活を体験できる機会をいただき感謝しています。友人からホームステイは、とても貴重な体験だと聞き、やっと念願が叶うと、本当にうれしかったです。

私は、半年前、交換留学で日本に来たばかりなので、話を通じるか最初は少し不安でした。ホストファミリーの樋口さんから電話が来た時もルームメイトに代わってもらいました。

でも、対面式で樋口さんの優しい笑顔、そしてなんととっても明るくて元気な二人の娘さんに会った時、緊張感が少し和らぎました。

対面式の後、市内で一番高い建物「朱鷺メッセ」に行きました。幸い天気にも恵まれ、繁華街やどこまでも続く広大な海、高くそびえる山々が見渡せ、すがすがしい気持ちになりました。その後、新潟市中央図書館に行きました。私は、教育学を専門しているため、図書館や公民館のような公共教育施設に関心があり、いろいろな施設を見てみたいとずっと思っていました。学校から遠いため、なかなか実現できませんでした。図書館はとりっぱな施設で、数年前、建てたばかりで、まだ新しいそうです。

夕食は、日本の家庭料理“肉じゃが”を初めて食べました。表現力が乏しくて申し訳ないのですが、美味しかったとしかいいようがないです。食後は、話をしたり、娘さんたちと簡単なゲームで遊んだり、とても楽しかったです。夜もぐっすり眠れました。

翌朝、県立自然科学館に行きました。普段の休日は、ほとんど書籍や文字が相手なので、自然科学分野に接する機会が少なく、不思議な物理現象、資源の再利用、世界の種の起源、本物の鉱物隕石など、久しぶりに触れました。確かに科学の進歩がなければ、人類も発展できなかったでしょう。楽しい時間がいつも矢の如く、あっという間に別れの時間になりました。二日間とても楽しかったです。



**「忘れがたいホームステイ」祭 智芳（中国）**

たった2日間のホームステイでしたが、私は日本料理の作り方を学び、たくさんの日本文化を体験しました。この事は大変楽しく、忘れることができません！

私は、ホームステイに参加できるとわかってから、興奮し、緊張していました。興奮は、とうとう日本人の生活の体験ができる期待、緊張は、自分の日本語のレベルが十分でなく、周りの人に迷惑をかけるという心配からでした。落ち着かない気持ちでいましたが、期待したその日が来ました。

対面式で「お母さん」と「妹」に会いました。なんだか穏やかな気持ちになりました。「妹」と最初に会った時、一見、スラリと痩せ、髪も短く、男の子だと思いました。そこでお母さんに「弟ですか？」と聞いたら、笑って、「妹ですよ」と言われました。私が謝るとお母さんと妹は「気にしないで、いつも男の子に間違えられるのよ」と答えてくれました。こんな小さな誤解のお陰か、私はすっかりおしゃべりになり、話もスラスラとできました。極度の緊張もすっかり緩み、わからない日本語も、用意してきた便利本を使い、筆談や簡単な英語で話しました。私は、できる限り日本語で話し、最小限の英語に努めました。

対面式の後、二人と一緒に昼ごはんを食べた後、国定指定重要文化財の「笹川邸」へ連れて行ってもらいました。そこで「曾我・平沢記念館」を見学し、両氏の書法や水彩画の作品を見ました。作者は、一幅の水彩画の中にこの住宅の庭園の一角を大変繊細に描いており、作品が生き生きとしていました。「美しい！」の一言です。また大変大きな一幅の書には「努力」の二文字。私は「日本語を勉強しなければ！」という気持ちが、急に湧き上がりました。

布施さんのお宅に着きました。私は、温かなぬくもりを感じました。晩ご飯の準備の時、お母さんを手伝いながら日本料理の天ぷらと寿司を習いました。お母さんと一緒に作った料理を、皆が美味しいと言ってくれました。夕食後、家族みんなでこれまでのアルバムを見ながらおしゃべりして皆「懐かしい！」と話していました。お父さんとの会話では、たくさんの日本文化と園芸関係の知識を得ることができました。この他に、彼は、自

身が中国にいた経歴を話してくれ、とても懐かしく、また感服してしまいました。

二日目、お父さん、お母さんと近所の「北方文化博物館」へ行きました。ここは登録有形文化財で、天皇陛下も訪れたことがあります。ここの庭園と建築風格に大変感動しました。曲径通幽、心静かに感じました。畳に座り、目の前の庭園を眺めていると、抱えていた悩みがずっと無くなり、心がゆったりとして良い気持ちになりました。豪華な昼食の後、帰宅し妹と合流し、「水族館」へ出かけました。大変暑い日でしたが、私達も負けないほど熱意がありました。水面下の世界は、なんとも神秘的な色彩を放ち、様々な海底生物達を見ていると生命の存在に対し、私は畏敬の念を抱きました。発光クラゲや色鮮やかな深海魚が身まとう色彩も羨ましく感じました。最後は、皆一緒にイルカのショーを見ました。なんでなのかわかりませんが、自然と感動していました。

布施さん一家には、素晴らしいホームステイ体験が出来たことに感謝しています。ありがとうございました。

**馬 鴻華（中国）**

私はホームステイに参加でき、大変嬉しく感じていました。それは、来日して2年の日本語学習の中で、日本の家庭生活に触れる機会が大変少なかったからです。

私は佐々木さんに出会いました。彼女は、礼儀正しく、振る舞いも上品で、もてなしが上手な方でした。私たちはすぐ打ち解け、一緒に記念撮影をし、私は日本家庭でのホームステイの旅を始めました。

まず私達を出迎えてくれたのは、佐々木さんのお父さんでした。彼は私の日本語がたどたどしかったためか、英語で挨拶しました。お父さんは、退職前は旅行会社に勤め、英語も使い、外国人との交流に慣れていたのでした。

私達は新発田城を最初に訪れました。城は大きくはないものの、年月が経過しているのに大変に精巧で、修復のおかげで美しく壮観に見えました。そして新発田で著名な画家（落谷虹児）の記念館

を訪れ、名画「花嫁」等を鑑賞し、そこでお父さんは私に、日本伝統のしおりを買ってくれました。佐々木さん親子の色々な説明で、私はよく知らない街の歴史や様子がとてもよくわかりました。それから佐々木さんのお宅へ行き、お婆さんとお母さん、2匹の可愛い猫と生まれたばかりの子犬に囲まれ、大変賑やかに過ごしました。

その後、日が暮れる前に佐々木家の菩提寺に行きました。森のマイナスイオンを吸い込みながら、自然の美しさに包まれる感覚は素晴らしく、その美しさをどう表現すべきか、適当な言葉が見つかりませんでした。家に戻ると、お母さんが日本食を準備してくれました。大部分の食材は、お婆さんが育てた有機食品ということでした。一家が一同に会し、外国から来た私と生活、学校、中日両国友好の未来について話しました。私は大変和み、ゆったりとした夜を過ごしたのです。

朝方、私はかすかな物音—私より早起きの猫たちの足音で起こされました。可愛い猫たちが軽くドアに爪を立てる感じは、「ドアを開けて私達を入れて!」と聞こえました。この日は、来日して一番早い時間の起床、一番豪華な朝食となりました。

お母さん、お婆さん、猫、子犬に別れを告げ、佐々木さん親子とドライブに出かけました。「キツネの嫁入り」「将軍杉」等を訪れ、大自然の魅力は誰も拒めない愛情のようだと感じました。最後には、新潟県で有名なヤスタダヨーグルトの工場に連れて行ってもらい、美味しいアイスクリームを食べて、すべての週末の旅が終わりました。

このホームステイを通して、私はますます日本での学生生活が好きになりました。美しい佐々木さん、もてなし上手のお父さん、善良で優しいお母さんとお婆さんに家庭のぬくもりを感じました。私は、中日友好はこのような大変善良な方々の支えで続くのだ、と信じています。

心から私を受け入れてくれた日本家庭に感謝します。



## 有馬

今回、初めて「留学生のためのホームステイ」に参加させて頂き、ベトナムからの留学生 Trang さんをお迎えしました。大学では日本語を専攻していたとのことで、言葉の問題はありませんでした。今春から幼稚園に通っている娘もすぐに「チャンさん、チャンさん」と懐き、大変可愛がって頂きました。

一泊二日の短いスケジュールでしたので、一日目は Trang さんと相談しながら以下のように決めました。

水族館（初めてだそうです。）→ スーパー（翌日の朝食の買い物をしました。）→ お寿司屋さん（Trang さんの好きな日本食だそうです。）→ 温泉（Trang さんと娘のリクエストです。）

二日目は娘の予定にお付き合い頂きました。

幼稚園の日曜学校[ベトナムの民族衣装アオザイを着て園児達にベトナムの紹介をして下さいました。] → 県立自然科学館[空中メリーゴーランド作りをお手伝い頂きました。]

二日間で「[幼児のいる]新潟の暮らし」を体験して頂けたかと思います。お料理も予定していましたが、今回は、残念ながら一緒にすることができませんでした。Trang さんは日本食を作ってみたいとのことですので、今度お時間がある時に、一緒にお料理できればと思います。

来春には大学院での勉強を終えられる予定とのこと、ご希望通りに日本での就職ができるようお祈りしています。

また、娘が「今度、ベトナムに Trang さんに会いに行こうね。」と言っておりますので、いつの日か、ベトナムでお会いできれば嬉しいです。素敵な出会いを有難うございました。



**「楽しかった二日かん」 大たき けいすけ**

ぼくは、ぶんちゃんと花火をしました。しゃしんをとろうとしたけどわすれてしまい、さいごに一まいしかとれませんでした。やった場所は、おばあちゃんのうちのまえです。こ年はじめての花火でした。ぶんちゃんとかったのでたのしかったです。でも虫よけキャンドルがくさかったです。でもだんだんたのしくて、くさいことをわすれてしまいました。

次の日は、バーベキューをしました。ぶんちゃんは、まえの日にころんじゃって、あまりはいらなかったけど、ぼくが、たからさがしのしょうひんでサッカーボールをもらったので二人ともたのしくあそべました。

ぶんちゃんは、かわいいからにんきもので、おじさんにはなしかけられたり、ごはんをたべたりして、たのしそうでした。それでぼくがひましてサッカーをやっていたらぶんちゃんがあそんでくれてうれしかったです。

**「麗娜ちゃんとの一日半」 永原 玲子**

初めてホストファミリーをすることになり、どんな人が来るのか、どうしたら喜んでもらえるか、部屋はどうしたらいいか、など色々心配しました。悩んだまま迎えた当日でしたが麗娜ちゃんに会って心配はふっとびました。とても人なつこい彼女で、すぐに打ちとけ、本当の孫が一人増えたようでした。

日本語もとても上手でした。所々あやしい箇所がまたほほえましく、その都度、漢字で筆談したり（日本と中国のつながりを実感しました）、英語を交ぜたり。中学生の孫は漢文を読んでもらって感動しており、一方で高校生の孫は漢文を日本読みしてみせて麗娜ちゃんに不思議がられました。

麗娜ちゃんのリクエストに応じ、たこ焼きを作ったり、天ぷらを作ったりしました。一方で、麗娜ちゃんが、お母さん仕込みの水ぎょうざを粉から作ってくれました。とてもおいしく、お腹一杯いただきました。

あっという間の一日半でした。これも縁だと思います。また日本のじいちゃん、ちゃーちゃんの所へ遊びにおいて。

**「ありがとう、茜さん」 須田 渚**

茜さんが須田家に来てくれることが決まってから、まずは家族紹介の手紙を、写真付きで送りました。後から茜さんに聞いたら、とても喜んでもらえたようで、嬉しかったです。次に一緒に何をして過ごそうか、何日も考えました。初めは、どこか新潟らしい所へ出掛けようかと考えていましたが、「特別なことではなく、普段通りの生活」を見てもらおうと、家で過ごすことにしました。

対面式の日、どんな子だろうとワクワクしていました。会った瞬間、一緒に来ていた4歳の息子を「かわいい〜」と言って、すぐに仲良くしてくれたので、安心しました。しかし私のバースデープレゼントを用意してくれて、びっくり&嬉しかったです。

バスと電車に乗って、たくさん話をしながら家まで行きました。家について、少しお茶を飲んでから、茜さんは子どもとおもちゃやパズルで遊んでくれました。疲れていただろうに、ありがとう！その後、一緒に夕食の買い物に行き、ハンバーグやポテトサラダなどを作りました。みんなで食べるご飯は、とても美味しかったです。そして、茜さんに浴衣を着てもらい、花火を楽しみました。

2日目は、家の畑でジャガイモ掘りをしました。そのジャガイモをふかしたり、カレーにしたりして食べました。息子もすっかり茜さんに慣れて、サッカー、バレーボール、花の水やり、DVDを見る・・・など、たくさんのかを一緒にしました。2人くっついて仲良く遊んでいる姿は、微笑ましく、本当の家族のようでした。

こんな風に、初めてのホームステイ受け入れで、不安もありましたが、茜さんのようなとってもかわいい子が来てくれて、嬉しかったです。中国のことにも興味が持てました。茜さんは楽しんでもらったかな？またいつでも遊びに来てね。ありがとう！



**「長年の夢」 椎谷 美智子**

以前から留学生を受け入れるホストファミリーに関心があり、子ども達にも国際感覚を身につけ、海外に目を向け興味を持って欲しく海外旅行を体験させてたので、毎週図書館に行く私の目に『留学生のためのホームステイ 受入れ家庭募集』のチラシが飛び込んできた時は思わず『これだ!』と叫んでしまいました。

我が家に来た美蓮ちゃん(中国)とは事前に電話で「対面式当日は娘を二人連れて行きます。」と話していたので彼女は私達が入ってきた時に「この家族かな?」と予想していたそうです。

対面式の後、クロスパルから西大畑の『旧齋藤家別邸』までを娘二人・美蓮ちゃん・私の四人で歩きながら話をしていると、長女の大学のお友達を知っていることがわかり、主人が仕事で大連に行く話をしたら美蓮ちゃんは大連出身だったりで共通点が多く、すぐに打ち解け仲良くなりました。

齋藤邸では抹茶に和菓子を頂き、日本の旧家を初めて見学する彼女はボランティアの説明も真剣に耳を傾け興味を持って聞いていました。

娘たちともずっと以前から友達のように写真撮影したり、girls talk で盛り上がり、お互いを名前で呼び合うのに時間はかかりませんでした。

夕食はお好み焼き・焼きそばをメインにした『みんなで作る大阪料理』で歓迎し、食事の後に主人を交えて花火を楽しみました。

二日目の朝はのんびり起床して、ちらしずし・天ぷらを下準備から我が家の女子全員で(私の母・私・美蓮ちゃん・長女・次女)分担して作り、台所が賑やかでした。

私の両親と記念撮影をしたり、父がコレクションにしている古い日本通貨や中国通貨を見たりしていました。

午後から黒崎のふるさと村を案内し、ホームステイ終了の連絡を忘れるくらい楽しくて時間があっという間に過ぎ、携帯番号やアドレスを交換しあい、彼女を「少し勉強して行く」と大学まで送る時には、もっと話したい時間が足りないと感じるのが寂しくなりました。

中国の大学で日本語を学び、韓国語・中国語と三ヶ国語を使いこなし、大学院生として日本で頑張っている彼女にエールを送り、これか

らも交流していきたいと思いました。素直で謙虚な美蓮ちゃんに『我が家に来てくれて有難う』と感謝しています。家も近いし、我が家の家族はいつでも熱烈歓迎!論文が終わったら、たくさん話をしたいと思います。

**佐々木 貴子**

以前より国際交流に興味があり、今回ホストファミリーに応募させていただきました。私を含め家族全員が初めての体験だったので、期待半分不安と心配が半分でホームステイ当日を迎えました。

というのは、我が家は新発田市のしかも下水道も通っていない、コンビニもない、店と呼べる店が何もないほどの田舎だったので、こんな所で果たして喜んでいただけるのか?と、とても心配しました。(見せてあげられるものは、豊かな自然と美味しい空気ぐらいだったので・・・)それに、言葉が通じるのかがとても不安でした。

ですが、我が家に来てくれた中国人の馬さんは、私達の心配は不要だったかのように田舎の自然を見て「みどりがいっぱいすごくいい!」と、大変感動していただけている様子で、少しホッとしました。とりわけ、馬さんが近所の畑で稲ったとうもろこしにカメラを向けていたことが印象的でした。美味しい空気も随分と堪能していただけていたのではないのでしょうか。

馬さんは日本に来て間もないのに、とても日本語が上手なうえ英語も堪能で、明るく話し上手な方でした。中国のことを質問してもどんなことでも答えてくれました。夕食の時間は、本当に楽しい時間を過ごさせてもらいました。

ホームステイを終えて、2 日間はあっという間でした。ですが、この 2 日間で今まで体験したことがないとても貴重な経験をさせていただきました。

馬さん、我が家に来てくれてありがとうございました。こんな田舎で良かったらまたいつでも遊びに来てくださいね、家族一同心よりお待ちしております!まーす!

## 「ホームステイの思い出」 布施 祥子

7月21日、私はワクワクしながら14才の娘とクロスパルにいがたを訪れました。

対面式で、本当に人なつこい笑顔で私達とあいさつを交わした蔡さんは、不思議なくらい希望していた通りの女の子で心から嬉しくなりました。

日本料理に興味があるとのことで、夕飯は天ぷらとうなぎ寿司を作ることにしました。娘には味噌汁を担当してもらい、蔡さんにも天ぷらを揚げてもらったり、すし飯をうちわであおいでもらったりと、慣れない作業に戸惑いながらも、楽しくお手伝いをしていただくことができました。その後、帰宅した主人と長男と五人で、久しぶりに賑やかな夕飯となりました。

蔡さんは、家族のこと学校のこと将来のこと等、筆談を交えながらいろいろ話してくれました。私が印象に残ったのは、中国の大学では、学生全員が学生寮に入っているということです。それも日本の下宿生の様に個室ではなく全て4~5人部屋なので自由は拘束されます。本当に学びたいまじめな学生ばかりなのだろうなって思いました。

翌日は、主人もいっしょに北方文化博物館、マリンピア日本海と、楽しい時を過ごすことができました。

私には「お母さん」と明るく笑顔を絶やすことのなかった蔡さん、娘には姉の様に優しく暖かく接してくれましたね。この二日間、我が家に来てくれて心からありがとう。これからも、元気に学業に励み、来年は日本の大学院に進学されることを願っています。再会吧。



## 「初めてのホームステイ受け入れ」皆川 綾

我が家にはベトナムからの留学生、りんさんとがーさんがステイしました。私たちにとっても初めての体験で、対面式までは緊張していましたが、とても可愛くて日本語が上手な2人に出会って、ひと安心。3才の娘もすぐに懐いて、「お姉ちゃん!」とくっついてまわっていました(笑)

まずは本町市場で夕飯のお買い物をしたり、護国神社をお散歩したりと、近場でのんびり過ごしました。夕飯は手巻き寿司にしたのですが、準備の段階からすごく興味を持ってキッチンを覗き、娘と一緒に酢飯作りをお手伝い。「自分で巻いて食べるのは初めて。美味しい!」とたくさん食べてくれて、私もすごく嬉しかったです。

この日は新潟空港でイベントを開催しており、夜は佐渡の「鼓童」の藤本吉利氏と聖籠太鼓チームによる和太鼓演奏を聞きに行きました。とても迫力のある演奏に留学生だけでなく、私たちも聞き入ってしまいました。

2日目はちょっと遠出し、弥彦までドライブ。ロープウェイで弥彦山山頂まで登り、弥彦神社を参拝して帰宅しました。せっかくだから・・・と欲張ってあちこち連れまわし疲れたのでは?と心配ですが、ふたりとも楽しんでくれたかな?少しでも日本文化や一般家庭の様子を理解することにつながると嬉しいです。

りんさんとがーさんはとても礼儀正しく、学業とアルバイトの両立を頑張るステキな留学生でした。会話はオールジャパニーズ。2人の語学力の高さにも驚きました。個人でできることは限られるかもしれませんが、こうした交流を通してお互いの文化や考え方の違いを理解することが大切なのだなと実感しています。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

りんさん、がーさん、またいつでも遊びに来てね。



## 小杉 由美子

今回、はじめて『留学生のためのホームステイ』に参加しました。わずか1泊のホームステイですが、前日まではやっぱりとても不安で何をどうしたらいいのかわからずに頭の中はパニックになっているのに、なぜか体は動かず結局いつもどおりの生活のまま当日、お迎えにいきました。(^^ゞ

琳茜さんの第一印象は、「とってもかわいいな〜」でした。また、私の高3の娘と帰りの車の中での会話で「すごく勉強していて頭がいい子だな〜」と思いました。

まず最初に向かった先は、二女を迎えに高校の部活でした。部活は、弓道をしているので顧問の先生にお願いして弓道場に入れていただき、練習風景を見学する事ができました。日本の文化に少しは触れられたかな…(^^)v

家に着くと娘の部屋でわいわいと雑誌を見たり、ゲームをしたりと3人が姉妹のように過ごしていました。また、3人でおばあちゃんの畑にトマトやナスを採りに行ってもらってとりたての野菜で夕飯を食べました。狭い部屋ですが、おじいちゃんもおばあちゃんもみんな一緒に食べながらいろいろな話ができてよかったです。(何もない食卓でびっくりしちゃったかもですが…トマトをたくさん食べてくれました。)

「明日は、どこに行く？ 何を食べる？」と娘たちはあれこれパソコンで調べたりしていましたが、結局はっきりとは決まらないまま2日目はみんな7時頃に起きてきて、またトマトを食べていました。(^-)-☆

2日目は、まず『国上山』へ行き、少し汗をかきましたがパワースポットを通り、吊橋を渡ったり、かき氷を食べたり、へびに遭遇したり…と楽しみました。

お昼に『君が代 製麺』に行き、工場見学と「流しソーメン」を体験しました。私たちも初体験でソーメンを流しながら楽しくいただきました。

次は、娘たちが大好きで何回も通っている「県立歴史博物館」を案内したいということで行くことになりました。縄文時代のようなすや土器などをゆっくり見学していましたが、琳茜さんは、昭和時代の町のようすや雪にもとても興味があるようでした。何回も来ている場所ですが興味の視点がち

がい私たちにとってもとても新鮮に見学する事ができたと思います。

最後は、最初から決めていたのですが、どうしても抹茶「茶道」に触れてほしくて…『江口だんご』に行きました。建物もとても情緒があって、明治からの創業を思わせる風情があり、着物を着た人から「お手前」をして頂き、お団子と共においしくいただくことができました。「笹だんご」づくりの実演もしていて、いろいろな和菓子を目で楽しみました。琳茜さんを受け入れることで娘たちにもたくさんの体験・経験・思い出をつくる事ができ、本当に良かったと思っています。たくさん中国の話を聞き、たくさん日本の話をし、お互いの国の親の考え方や子どもの考え方、そして世界に向けたこの子どもたちの気持ちを感じることができ、とても感謝しています。

最後に留学生のみなさんが無事に日本での学生生活を終えられ、夢の実現へと頑張っていけるようお祈りしています。

ありがとうございました。 m(\_)\_m

